

陶磁器焼成用窯を利用し土状褐鉄鉱を用いた特殊鋼用

海綿鉄を製造する研究に關する概況報告

本研究は昨年春地質調査所より試験依頼され當場に於て小規模の基礎的研究を済ませ其後右試験研究の結果に基き同年秋内閣に於ける研究動員會議に於て之を國家の重要研究課題に取上げ技術院に於て提案を軍需省の担当と決定戦時研究課題に指定され十九年度より之れが研究費を計上云本格的に研究を進むる事となり軍需省鉄鋼局特殊鋼課に於ては之が戦時研究たる否とに關せず十九年度に於て相當量の生産量を期待し十年度末より成田軍需官主任となり専ら之が指導獎勵に努められたり

之より技術院に於ては將來之を企業化せんとす新設會社秋田縣湯支鉱業及長野縣石巻鐵業に對し本件に關する實際的研究を委嘱せられたり十八年度末軍需省鐵鋼局長より技術院生産技術部長宛本件に關する技術の検討確立に付協力に依頼ありたるにより技術院に於ては更に科学装置技

0656

術協議會に委嘱し土室式原鉄製造装置部會を構成せしめ昨年来才
 一面協議會を開催し其後毎月平日協議會を開き從來の技術を整理し一
 應標準操作法を決定し其後技術院並に軍需省に於ては第一回の講習會を
 岐阜縣空軍指導所に於て開催し更に又第二回講習會を仙臺市に於て南
 催し技術的指導をなし召集せる多數の特殊鋼製造業者並に一般鉄工業
 計畫者の研究或は企業計畫に便せしめたり 鉄鋼統制會に於ても右
 兩講習會に對し講師を派遣し充分協力せられたり
 其れ以来土室製鉄に關する認識一般に高まり各所の製鋼會社及鐵業
 所に於ては之が事業計畫を樹つるの必要なる事を認め當所に調査研究指導
 を求めんとするもの強出すに至り 然るに同鉄統制會内部に於て
 も特に熔鉄炉關係者間に於て漸く本製鉄に對し批判檢討するに至り從
 來熔鉄炉には余り重要視せざりし而かも本法に於ては主要なる褐鐵
 鐵が結局競合する事となり本法に於ける技術的確並に充分なるを以て
 反對意見を有するものあり又之が一般世間にも拡がり軍需省並に鐵金屬

0657

局鉱山課にも強力に反響し本法試験研究並に企業計画者の準備実施に著しき阻害をなすに至りし

技術院及軍需省に於ては現下の情勢に鑑み本法に依る製鉄の生産技術の確立を期すは最も喫緊事なるを認め前記三會社其他試験又は企業計画者を名て長期連続試験を行はむべく極力努めたりしが種々の事情にて試験研究更に甚しく遅滞を見るに至りし

依て改めて岐阜縣官業指導所及福島縣大塚村相馬陶磁器有限會社に於て右試験を急遽実施すべく委嘱せられたるも其後研究費及資材配分方法決定する故是れ亦具體的に準備を進むるに至りし 依て軍需省に於ては前記事情の如何に拘り試験を推進せむる為め先づ相馬陶磁器有限會社に對して相當の前液金を融通せざるが計關係の大なる技術的援助と東北軍需監理部並福島縣當局の充分なる理解の下に具體的準備を進め六月末頃第一回の試験焼成を実施するの運びに到り一方當於に於ては直接大量の工業化試験をなす事は設備も掛ければ又経費

1. 資材等の獲得に就ても種々困難なる事情あり急遽に工業試験を
 引受くる事を躊躇せしが偏々本年三月將來に工業化の目的を以て設立せり
 此たる三七原株株式會社の創立を見るに到りたるを以て之れも提携の同社
 所有の下石工場の空室を利用して工業化試験を行ふ取も好都合なる
 を思ひ同社と連絡工業化試験の準備を進め居たるも此地区には
 海軍艦政本部関係の東亞特殊製鋼會社あり之れとの競合問題
 もあり軍需省及縣当局に於ても稍々躊躇するに至り遺憾なるも又急
 速に進行致し難き事情生るるも免れ角種々相談の結果漸く六月
 下旬第一回の工業化試験を行ふ程度に到り 然し此試験も資材要
 求量入手に至り及遠に先んずる試験を實施する能はる間未だ計の
 工業化試験は中絶の狀態にあり斯くの如き一時的の試験にて連絡未
 ださるやうにては提携先とする會社と到底連絡を成し得ざるに至るを恐
 る斯くせる中に六月初 軍需省アルミニウム課長より「軍需省少
 技術院連絡打合の結果土室により明撥るよりアルミニウムを制法

0659

する事に對策を決定せし故指導協力方依頼す」との電報に接し
西米各方面より連絡未だ之が試験計画上に付協議あり、ある際急
に東海軍需部監理部より園田部長瑞海少将に以て際直ちに遊休設備を
動員利用を相当量の生産計画を樹て急速に実施する様に致
さんと殆んど研究員に對し命令的に決定せられ其等の事情を懸
に連絡協議する余地なく引續き本事業に關係深き清水の日
輕合社と交渉の結果差當り至急三十社のクリニカー生産の工業化試
験と実施を其結果を見て相当量の生産に達する事に決定せられ
材其他防務厚輸等に關しては本事業監理部に於て款當局と連
絡間に合はすとすいふ事により至急進行する事となり瑞海少将は全部
アルミナの試験に従事するに至つた アルミナクリニカーの研究は急
を要する關係主任たる武田孝枝官始め大学院総合研究所武田
化学従業員 日輕社負等研究員末瑞海少将直接試験に従事す
經費も現金持系研究員に於て機敏に整理せしむ能くは是當り

支 皇 軍 需 部 監 理 部 第 一 課

0660

三。融の生産試験は本月中に終了するものと思はる。東海軍需製造
理部よりは太平洋中尉監督官とて当所に駐在を専ら資材入手
斡旋其他本試験研究の進行に努め居れり

次向限りある当所の従業員及設備あれば製鉄の試験は資材の入手
の關係もあり稍々中止の状態にありたれども製鉄も愈々熔鉱炉爆撃等
必至の急迫せる情勢とあり其場合の対策として本法に依る製鉄生
産に關する対策確立上(最高部の方針)實地大規模試験に依る
データが必要とする為ノ更に最近技術院に於て速急心に標準
操作に依る工業化試験を実施する事に決定を種々検討の後
果戦時研究とて余が担当者とあり責任を以て業者と提携あり
実施する事に準備を進むる事とされり 土室式製鉄は此試験の
結果により的確なるデータを求め一は以て最高部に於ける本製
鉄に關する対策確立上の資料に供し他は以て現在各所に設置
計画を進められつゝある土室式製鉄工場の指導上の指針とせん

0661

岐阜縣産業指導所

とす 依て此に重要なる工業化試験に對し是等は、アルミナ
クリニカ 三〇能計画生産試験と並行して急速試験完了を
必要とする故特別に縣及軍需監理部の積極的協力に依
り資材供給を獲得し以て急速な試験を完了せしむ

0662